

子どもを育てる

10のヒント

～「三方よし」が実行できる基礎づくり～

- 自分よし (自己実現)
- 友だちよし (思いやり)
- 学校 (家庭・社会) よし (社会貢献)

東近江市立布引小学校
東近江市立布引小学校PTA

布引小学校では、全国学力・学習状況調査の結果から、学力調査と生活習慣や子どもの意識などの関連を分析し、子どもたちの学力を育てるために、学校や家庭で実践していただきたいことを10項目のヒントという形でまとめました。

10項目全てをやらなければならないわけではありません。また、全てのご家庭に当てはまることばかりでもないと思います。ご家庭の事情に合わせて一つでも実践し子どもたちの健やかな成長を見守りたいと思います。できることから初めてみるのが大切であると考えています。ぜひ、ご家庭での子育ての参考にしてください。

生活習慣

子どもの意識

保護者の関わり

ヒント1 毎日、しっかり朝食を食べる

朝食は一日の活動の源です。朝食を抜くと脳にエネルギーが供給されず、脳の働きは落ちるそうです。簡単な食事でも朝はしっかり食べさせるようにしましょう。



ヒント5 欲しい物でもがまんでできる子に

子どもは、ねだれば何でも買ってもらえると思っていませんか。我慢ができない子になってしまうと、自分の欲をコントロールできなくなります。子どもが欲しがるものを何でも買い与えるのではなく、「お誕生日まで待とうね」と約束するなど、我慢する子どもに育てましょう。



ヒント8 家の中でもあいさつを

★「おはよう！」「おはよう！」
★「行ってらっしゃい！」「行ってきます！」
家庭ではあたりまえのように行われていた声かけのキャッチボール、今皆さんのご家庭では言えていますか。大人が挨拶している姿を見て子どもは挨拶の仕方を学び、コミュニケーション能力を育んでいきます。明るい挨拶は家庭から。さあ、今日から親子で、ご家族みんなで挨拶をかわしましょう！！



ヒント2 規則正しい就寝と起床を

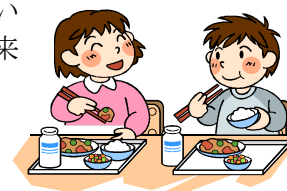
子どもたちの睡眠の乱れは、学習意欲や体力・気力の低下を招き、子どもたちの攻撃性を増したり、無表情になるなどの影響が出てくると言われます。

朝の光を浴びて目覚め、さわやかな一日を迎えるために、規則正しい睡眠時間を習慣づけましょう



ヒント6 将来への夢がもてる子に

将来こんな人になりたい、こんな仕事をしたいという夢を子どもは抱いていますか。自分らしさを最大限に発揮し、人とは違う自分のよさを伸ばしていきたいようにしたいですね。働く姿を見せたり、将来への夢を話したりする機会を作りましょう。



ヒント9 親子の会話で家族の団らんを

「今日は学校楽しかった？」子どもたちがどんな学校生活を送ったのか、困ったことはなかったのか聞いていますか。夕食を食べながら学校での様子を聞くなど、子どもとの会話をふやしてみましょう。何気ないひとことが、かけがえのない家族の温かさや絆を深めることとなります。

ヒント3 テレビやゲームは時間をきめて

テレビやゲームが子どもに与える影響は大きく、子どもから考える力を奪ってしまいがちです。

テレビやゲームは時間をきめて最小限にし、読書の習慣を作ることによって、自分で想像し考えることのできる力を育てましょう。



ヒント7 社会のルールやマナーを守る子に

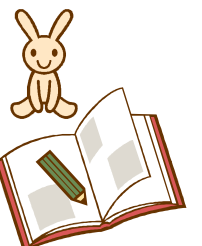
「赤信号なのに平気で渡る」「ゴミや空き缶をポイ捨てする」そんな人を見かけたことはありませんか。まず大人が率先して子どもの手本となる行動を示しましょう。そして、社会のルールやマナーを守り、弱い者をいたわる気持ち・困難に立ち向かう忍耐・命の大切さ等の規範意識を育てましょう。



ヒント10 家の中で勉強する場所を決めて

家での勉強には、一人の部屋が無くとも、兄弟・姉妹と同じ部屋、リビングと勉強部屋を兼ねていても大丈夫。机一つあればいいのです。台所のテーブルを利用して勉強するのもいいでしょう。ただし、机の前にはできるだけ広い空間を用意しましょう。

このように家で勉強する場所を決めてやりましょう。そして、子どもの勉強に協力する姿勢（TVを消す、音楽を消す等）を示すことも重要です。



ヒント4 家の手伝いができる子に

子どもが家庭で必ずする手伝いや仕事を決めていますか。靴ならべ・洗濯物たたみ・お皿洗い・テーブル拭き等何でもいいのです。家族の一員として、子どもに役割を与えましょう。家族との会話も増え、やり遂げた達成感を味わうことができます。また、家族に感謝する気持ちや物事を最後まで行う責任感もついてきます。家庭における手伝いや仕事は子どもを着実に成長させます。

